

平成30年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市市之瀬運動広場		
管理者名	荻川コミュニティ振興協議会	指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日
担当課	秋葉区役所地域総務課		
所在地	新潟市秋葉区市之瀬746番地1		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	市之瀬運動広場 敷地面積 24,000㎡ 多目的グラウンド (野球場2面・サッカーコート1面・陸上トラック・テニスコート・ゲートボールコート) 芝生広場		

施設設置目的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1)新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2) 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。 (3) 利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4) 利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5) 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7) 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8) 指定管理者制度を理解し、実践すること。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市民	広報の充実	・HP等による毎月の情報提供	1～2ヶ月に一回程度必要時に実施	B	
	基準利用者数の達成	・年間10,000人以上	12,211人	B	
	基準稼働率の達成	・全体育施設平均利用率55%以上(利用日数/開館日数)	38% (利用の無い12月は除外)	C	目標を下回った
	設置目的に合致したサービス提供	・施設や指定管理者の特色を生かした事業の実施	施設環境を整え、利便性の向上に努めた	B	
	地域連携	・地域と連携した事業の実施	荻川地区ソフトボール大会実施	B	
財務	管理運営経費の削減	・管理運営経費を年間8,759千円以下	9,432千円	B	
業務	人身事故に関するもの	・補償を伴う事故発生件数0件	0件	B	
	事業報告の適切さ	・事業報告の〆切厳守	期限内に報告している	B	
	危機管理体制の整備	・危機管理マニュアルの職員周知	「災害対応事務処理要領」、「緊急連絡網」を周知している	B	
	安全確保の取組	・AED講習会等の年1回以上の実施	年2回受講 (スポーツ救急手当講習会、にいがた救命サポーター講習会)	B	
	事故防止の取組	・設備、備品等の日常点検及び定期点検による事故防止対策の実施	定期的に備品確認やグラウンド巡回を実施	B	
	関係法令の遵守	・個人情報保護、情報公開及びコンプライアンスに対する職員周知	個人名などの個人情報の入った資料は外部に出さない、守秘義務の順守など周知し適切に管理している	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	・業務仕様書等に定める事項の遵守	維持管理業務仕様書の業務実施を業務報告により確認	B	
人材	配置人員のスキルの習得度	・職員研修を年2回以上実施	年2回研修会受講 (公認体育施設運営士養成講習会受講・資格取得、にいがた救命サポーター講習会)	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

利用者数は前年の平成29年度10,802人に対し30年度12,211人と増加したが、基準稼働率は38%に留まった。要因は屋外施設であり野球やサッカーなど社会人のチームや少年野球チームの土・日・休日の利用が中心である事、冬場の利用が月1回程度と少ない事、また天候の影響を受けやすく、週末雨の場合はキャンセルにより利用率低下となる。これらを検討素材として今後は地域のグラウンドゴルフ練習による会場利用や屋外行事の利用など平日利用率の向上に繋がるよう、連携を模索しながら利用率向上を図りたい。
設備面としては芝生広場拡大、マウンド整備(黒土への入替え転圧)、多目的トイレ扉の補修、ポイ捨て禁止看板の設置などを実施し施設の利用環境は良好に維持管理しており、次年度はベンチ日除けの設置、東屋・ベンチの再塗装も計画、利用者数の向上に繋げていきたい。
職員のスキル向上は公認体育施設運営士養成講習会を受講し資格取得した。また、にいがた救命サポーター講習会も講習し利用者の安全対策ならびに日常業務に反映させるよう努めた。

所管課による総合評価(所見)

現地調査日:平成31年3月29日

指定管理5年目として、設備の管理を十分に実施し、施設の管理・維持に努めた。

施設利用者数は12,211人と前年度を上回ったが、稼働率は38%と前年度を下回った。

前年度は実施していなかった職員研修を年2回行い、職員のスキル向上に努めたのは高く評価できる。

次期指定期間でも引き続き利用者数・稼働率の増加に努めていただきたい。